

事務事業評価表

評価対象年度	平成 15 年度				
事務事業名	保健事業(健康電話相談)			事務事業コード	
担当部課係等	保健福祉部健康増進課国保年金係			<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画対象事業	
総合計画体系				法令根拠	国民健康保険法第74条
予算科目	会計	款	項		目
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 12 年度 ~) (年度 ~ 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	
事業概要				全体計画 (単位:千円)	
国民健康保険法、老人保健法に基づく保健事業の1つとして実施。電話健康相談事業は、健康・医療・育児・介護・ストレス等の相談に応じる、24時間年中無休の無料電話サービスを実施。実施方法としては、専門の業者に委託し、経験豊富な医師・保健師・看護師が内容に応じて、必要な支援及び助言を行い、家庭における健康管理を図る。				事業内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0
				人件費	正規職員 正規職員以外 人件費計(B) 0
				トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果

① 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)

15年度実績

各種健康相談事業としての、24時間年中無休の無料電話サービスは、医療相談等を専門の業者に委託し、経験豊富な医師・看護師等が内容に応じて助言をした。年間3,056件の利用があり、30歳代が1499名で約半数を占めた。相談内容では、気になる体の症状についてや治療に関する相談が多かった。

16年度計画

前年同様

② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

・国民健康保険被保険者及び市民

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

・気になる体の症状について正しい治療を理解してもらう。
 ・相談者の健康不安を解消する。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

生活習慣を見直し、疾病の予防が図られる。
 健康で安心して生活できる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

・利用者
 ・相談件数

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

・国民健康保険被保険者数
 ・市民数

⑦ 成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない

・症状を正しく理解した相談者数 / 全相談者数
 ・不安が解消されたと思っている相談者数

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

生活習慣の改善が図られたと感じている者の数
 健康で安心して生活している人の数。

(2) 総事業費・指標等の推移

(単位:千円)

		12年度 (実績)	13年度 (実績)	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (見込み)	17年度 (目標・計画)	18年度 (目標・計画)	
投入量	事業内訳	国庫支出金	1,875	1,917	1,961	2,032	2,058		
		県支出金							
		地方債							
		その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	3,363	3,321	3,277	3,206	3,180		
	事業費計(A)		5,238	5,238	5,238	5,238	5,238	0	0
	人件費	正規職員	65	65	65	65	65		
		正規職員以外	0	0	0	0	0		
		人件費計(B)	65	65	65	65	65	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		5,303	5,303	5,303	5,303	5,303	0	0
活動指標	相談件数	1,747	2,106	3,441	3,319	3,500			
対象指標	国保加入数	23,663	24,427	25,399	25,929	26,447			
	市民数	64,648	64,898	65,162	65,508	65,873			
成果指標									
上位成果指標									

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？

24時間対応の健康相談をしてほしいという市民からの要望があった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか？

・電話相談の利用者は年々増加している。

③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが上位施策に結びついていますか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく ⇒【理由】⇒	・生活習慣を見直し、疾病の予防が図られる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的ですか？	<input type="checkbox"/> 手が引ける ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない ⇒【理由】⇒	・市民の健康不安を解消するには24時間電話相談が有効である。
	③ 対象・意図の拡大又は縮小余地 事業の対象・意図は適切か？拡大・縮小の余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒	・国民健康保険被保険者を対象にしており適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 余地がある ⇒【原因】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない ⇒【理由】⇒	・気になる体の症状についての相談、治療に関する相談、育児相談、ストレス相談など多種多様な健康相談に応じて、市民の健康不安を解消している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【具体的な影響】⇒ 【問題解決策】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ	・市民が気軽に24時間電話相談をするところなくなってしまう、市民の健康不安が解消されない。
	⑥ 類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【具体的な影響】⇒ 【問題解決策】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ	・回線のフリーダイヤルで実施しており、委託費の削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 ⇒【理由】⇒	・委託事業のため、必要最少限の費用である。
公平性 評価	⑨ 受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 公平・公正な負担率ではない。⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正な負担率である。⇒【理由】⇒	・受益者負担はない。

3 改革・改善方向の部

(1)改革の方向性(改革案・実行計画)

廃止 見直し(目的妥当性 効率性 有効性 公平性) 統合 継続
 ・今後、この事業を継続していく上で、24時間電話相談で健康不安が解消されたと感じた相談者がどのくらいいるのかアンケート等で把握する。

(3)改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(2)改革, 改善を実現する上で克服すべき課題は何ですか?それをどう克服していきますか?
 ・アンケート調査の実施

4 事務事業の2次評価結果

(1)1次評価結果の客観性と出来具合

記述説明不足(説明責任不十分) 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

(2)2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 適切 見直し余地あり
- ② 有効性 適切 見直し余地あり
- ③ 効率性 適切 見直し余地あり
- ④ 公平性 適切 見直し余地あり

(3)評価結果に至る経緯や申し送り事項



(4)2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充 事業統廃合 事業のやり方改善
予算削減 予算増大 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5)その他2次評価会議で指摘された事項

2次評価→利用者数が少ない。PR不足。
 アンケート実施よりもっとPRする。
 相談内容を分析して今後の保健事業に活かす。

(6)改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

5 最終意思決定結果

(1)改革の方向性(改革案・実行計画)

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充 事業統廃合 事業のやり方改善
予算削減 予算増大 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2)改革, 改善を実現する上で克服すべき課題は何ですか?それをどう克服していきますか?